

チャイルドハート 唐津

放課後等デイサービス

支援プログラムⅠ



友だちと仲良く出来る「安心・安全」の場所

<療育って何?>

利用する子どもたちが、**社会人として自立**出来るよう、**治療と教育のバランス**を保ちながら支援を行います。医療的行為ではなく、**心理社会的アプローチ（関りを通した育み）**を提供します

チャイルドハートの療育



<療育の考え>

“子供の成長は「**体**」「**心**」「**知(頭)**」の順番で行われる”との考えのもと、図のピラミッドを意識した療育を行っております。全力で身体を動かした先に子どもの成長はあります
「心」「体」「知(頭)」のバランスを整えることで、**育み**のお手伝いをします



<どんなことをするの?>

運動遊びを中心に、「一緒に」という**協調心**、「やってみよう」という**挑戦心**、「出来た」という**達成感**を育みます

※主なイベント

季節に合わせた活動：花見、海水浴、栗拾い、ハロウィン、クリスマス、餅つきなど
体験学習：農作業、自然体験、乗馬、クッキングなど



<障がいて何?>

現在、日本には視力が0.1以下の方が約3割います

これが、江戸時代であれば、日本人の約3割が目が見えない、いわゆる「障がい者」です
しかし、眼鏡・コンタクトという「**環境**」のおかげで、普通に過ごすことが出来ています

困り感を抱く子どもの「**環境**」を変えることが出来れば、過ごしやすい日常を過ごすことに繋がります

5つの支援を通して ～根拠ある療育で健やかな成長を～

本人支援を5つの領域に分けて個別支援計画書を作成しております

子どもがどう感じ、どう思い、どう成長していくのか、計画書を元にその育みをお手伝いします

<健康・生活>

「なかなか寝てくれない…」

寝る事は意識して出来ません。夜の食事時間や就寝前・就寝時の環境、朝どう起きるかを一緒に考えましょう

※支援項目

健康状態の把握・健康の増進
基本的な生活スキルの獲得など



<運動・感覚>

「不器用なところがある」

育みはお腹の中から始まっています。運動発達の順番や時期、原始反射の残存、感覚の特性など、不器用さの背景にある原因（発達の凸凹）を一緒に考えましょう

※支援項目

姿勢と運動・動作の基本的技術の向上
保有する感覚の活用、感覚特性への対応など



<認知・行動>

「切り替えるのが苦手かも…」

子どもは楽しいか楽しくないかで行動を決めます。切り替えスイッチがあるのか？切り替えた先の行動は楽しいものなのか？行動の前後に着目し、よりベターな声掛けや環境の調整方法を考えていきましょう

※支援項目

知覚から行動への認知過程の発達
認知や行動の手がかりとなる概念の形成など



<言語・コミュニケーション>

「癇癢を起こして困っている…」

泣き叫びますか、それとも叩きますか？今のこの子にとって気持ちを伝える最善の選択肢です。おしゃべりすることと気持ちを発信する力は別です。気持ち（感情）を代弁することを始めてみましょう

※支援項目

言語形成と活用、受容・表出言語の支援
コミュニケーション能力の獲得など



<人間関係・社会性>

「友だちと仲良く遊べるかな…」

友だちと言う社会に入るための安心・安全な場所がありますか？初めてのことに挑戦する心は育まれていますか？

まずは大人と一緒に様々な体験遊びをしましょう。

※支援項目

アタッチメントの形成・模倣動作の支援
感覚運動遊びから象徴遊びへの移行
一人遊びから共同遊び、集団遊びへの支援



5つの領域はそれぞれが分かれているようで、全てが繋がっています
点と点が線になり、子どもの育みに繋がります



「いま出来ることは何か？」を考えます

<家族支援>

子育ては両親だけで行うものではありません。両親の要望をお伝えいただき、特性理解を一緒にいき、お子様への最善な関りを考えましょう

※支援項目

個別面談、保護者会、ペアレントトレーニングなど

<移行支援>

入学、進級、転校は子どもにとって一大イベントです。環境の変化による身体への影響は親が思うより大きいものだと感じます

※支援項目

進級時の情報伝達、転校先との支援会議など

<地域支援・地域連携>

「障害」がその子の「個性」となるよう、環境調整を行います

子どもの社会性は家ではなく、園や習い事、事業所で育まれます。地域で子育てを行いたいと思えます

※支援項目

学校での支援会議、協議会への参加、地域交流など

<職員の質の向上取り組み>

子どもも大人も一緒に成長します

知識・技術の身につける環境を整えています

※年間計画

管理者研修、新人研修、各種委員会研修、実務研修、学習支援研修、発達専門員による症例検討会、法人内での学習会、事業所外の研修など

<アタッチメント（愛着）>

愛着障害は、愛情不足ではなく、誰もが抱えているものです。そして、育みの土台となるものです。子どもとの信頼関係を構築し、安全・安心の場所の提供が本事業所で一番初めに行うことです

<原始反射・運動発達・感覚統合>

分娩方法やはいはいの期間、バランス感覚など、その子自身が持つ育み方を理解します

子どもの持つ伸びしろを大切に、原始反射の統合や発達の凸凹の改善、身体の感覚の土台作りを専門的に評価し、活動を提供します

<体験学習>

自然体験・社会体験・文化的体験を通して、子どもの興味・関心を引き出します

主体的な体験は子どもの五感を活性化し、育みを促します

<コアップアプローチ（CO-OP approach）>

学校の学習では「正解を導く」力が身につきます。社会では「正解がない」ことが多く、その問題にどう取り組んでいくかが重要となります。

子どもが主体的に考え、問題解決をしようとする過程を大切に、行動していく力を養います



根拠ある療育を
実現します

私たちは**子ども第一**の精神で支援します（法人理念）

<所在地>
 佐賀県唐津市新興町196
 MoSCo 太洋ビル3階

<サービス内容>
 放課後等デイサービス



<運営法人>
 株式会社チャイルド（佐賀県伊万里市）
 ※同一法人：飯塚（福岡）、二丈（糸島）

<職員情報>
 管理者（事業所の運営管理）、児童発達支援管理責任者（支援内容の管理）
 理学療法士、認定心理士、児童指導員



<開所時間、支援提供時間>

開所時間	月曜～金曜日	9時30分～18時30分
	土曜・祝日（学校協業日）	8時30分～17時30分
支援時間	月曜～金曜日	14時30分～17時30分
	土曜・祝日（学校休業日）	10時～16時

※長期休暇中は学校休業日と同様

<対象者>
 学校に就学している発達特性のある児童
 または、医師などから支援の必要性が認められている児童

<利用料金>

非課税世帯	0円
世帯収入 890万円以下	月上限負担額 4,600円
世帯収入 890万円以上	月上限負担額 37,200円



TEL 0955-58-8700
 FAX 0955-58-8701

☞ **チャイルドハート** で検索

詳しくはこちら👉

